

News 港湾ニュース

■ 第 54 回北海道開発局空港技術研究会議の開催

北海道開発局 港湾空港部 空港課

平成 27 年 12 月 10 日(木)札幌第 1 合同庁舎 2 階講堂において、第 54 回北海道開発局空港技術研究会議を開催し、およそ 100 名の方にお集まりいただきました。

本技術研究会議は、空港整備に携わる担当者の技術の研鑽などを図る目的として毎年開催されており、空港管理者(国、自治体)、研究機関、航空会社、建設業者、建設コンサルタントなどの方々に聴講していただきました。

開催にあたり、北海道開発局港湾空港部笹島港湾空港部長から、近年の航空動向として、北海道においても、アジアを中心とした外国人観光客の急増により来道外国人が過去最高を更新、新千歳空港の国際線旅客数は平成 27 年度もさらに過去最高を塗り替える勢いで増加していることから、新千歳空港においても訪日外国人旅行者の受入環境整備として、国際線エプロンの拡張、誘導路新設等の整備を来年度から推進していく予定であること。また、新千歳以外の函館、旭川、帯広空港も混雑状況にあるため、開発局も技術的な協力を含めて、今の状況を打破していきたいとの挨拶で始まりました。

今回は特別講演を含め 8 つのお話をいただき、はじめに、「成田国際空港 34R の RESA について ―アレスティングシステムの海外事例調査―」(成田国際空港(株)吉崎運用計画グループマネージャー)、その後、「関西国際空港における防潮壁築造による津波対策について―礫質地盤における原位置攪拌工法の採用―」

(新関西国際空港(株)山田基本施設グループ員)、「寒冷地における舗装体の健全度評価について」(国立研究開発法人 土木研究所寒地土木研究所寒地道路保全チーム上野研究員)、「空港舗装の点検・補修の効率化に向けた検討について」(国土技術政策総合研究所和田空港施工システム室 室長)、「空港の災害対策に係る取組みについて」(航空局空港安全・保安対策課畠山空港安全国際調整官代理奥田専門官)と続き、休憩後に特別講演として、「那覇空港滑走路増設事業の概要」(沖縄総合事務局開発建設部空港整備課鈴木品質確保係長、同那覇港湾・空港整備事務所與那覇副所長)、「利尻空港 場周柵更新工事について」(北海道宗谷総合振興局稚内建設管理部利尻出張所佐藤主任)、「稚内空港 冬期の視程改善を目的とした防雪柵の効果検証について」(稚内開発建設部稚内港湾事務所水上課長)に発表していただきました。

発表していただいた内容について聴講者からは積極的な質疑が有り、更には時折メモを取りながら、終始真剣に耳を傾けておられ、その関心の高さが窺えました。また、会議後のアンケートからも今後も本会議を継続して欲しい、次の技術研究会議にて講演して欲しい内容などの多くの声が上がりました。改めて本技術研究会議の必要性を感じているところです。

最後に、御多忙の中、本技術研究会議に発表していただいた発表者の皆様、並びに聴講に参加いただいた皆様、改めまして感謝申し上げます。



特別講演の様子



発表の様子